

「食品ロス」に関するアンケートについて

食品ロスとは…
食べられる状態であるにもかかわらず廃棄される食品

日田市消費者団体連絡協議会と市が実施した、食品ロスについての消費者アンケート調査結果の一部を紹介いたします。

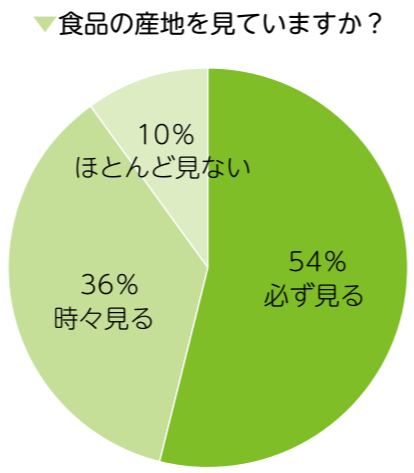
- 結果の詳細は、市ホームページに掲載しています。
- ▶ 調査期間 平成29年11月14日～12月31日
 - ▶ 調査対象 市内在住の消費者500人

Q 主にどこの野菜を購入していますか？

- ・大分県内：336人
- ・県外：54人
- ・わからない（特に決めていない）：81人

Q 主に食べている牛肉の産地はどこですか？

- ・大分県産：161人
- ・県外産：134人
- ・輸入肉：31人
- ・わからない（特に決めていない）：167人



アンケートのまとめ

「食品ロス」に関して、食品の産地への関心度を中心に調査を行いました。大分県内産の食品を意識して購入している人も多い一方で、自分たちが食べている食品の産地を知らない（気にしていない）人も少なくないようです。食品ロスを減らすためには一人ひとりの取組が重要です。一人当たりの廃棄量は少なくとも、日本中・世界中の問題としてみると膨大な量となります。地元の食品を地元で消費することも食品ロスを減らす第一歩です。

まずは今日の買い物で「産地はどこだろう？」と気をつけてみましょう。

日田市の消費生活相談実績



相談件数	平成29年度に多かった相談内容
平成27年度 229件	1. 架空請求
平成28年度 241件	2. インターネット通販
平成29年度 280件	3. インターネット回線契約
	4. 多重債務・借金問題
	5. 移动通信サービス（携帯電話等）

「安心・安全な暮らし」をお届けするために
消費者被害が深刻化する中、悪質業者の手口は、年々複雑・巧妙化しています。
また、相談内容も多種多岐にわたり、相談件数も年々増加しています。
市では、平成28年4月に消費生活センターを設置し、相談体制の強化、被害予防のための啓発を行っています。今後も継続して住民の安心・安全な暮らし、消費者行政の推進に取り組みます。



～一人で悩まず まずはお電話を～

消費生活に関する相談はこちらへ
☎日田市消費生活センター
☎②9393（市役所2階）

ファミリー・サポート・センター会員募集

ファミリー・サポート・センターとは、子育ての手助けを受けたい人（おねがい会員）と手助けを行いたい人（まかせて会員）が会員となり、地域の中で互いに支え合う会員組織です。

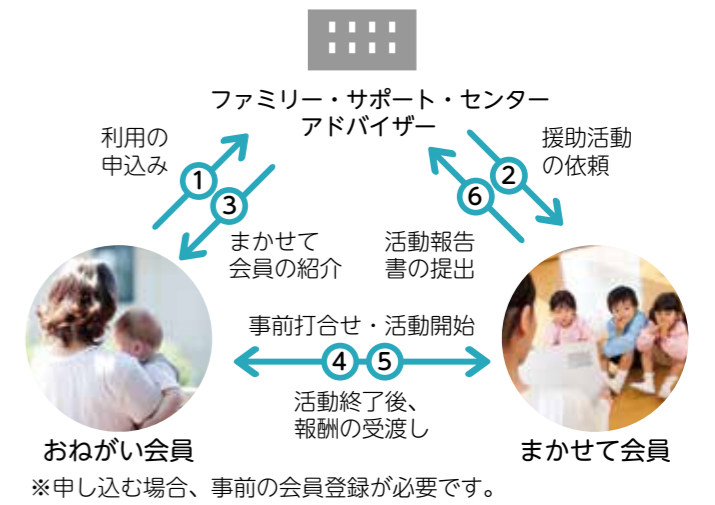
入会すると、次のような場合にまかせて会員が子育ての手助けをします。

- ・保育園、こども園、小学校、児童クラブ等（以下「保育施設等」）の開始前や終了後の預かり
- ・保育施設等までの送迎
- ・仕事（残業等）、冠婚葬祭、学校行事等の場合の預かり
- ・買物、病院等の外出時の預かり
- ・子供が軽度の病気の場合の預かり

今まで対象の子供を預かる場所は、まかせて会員の自宅でしたが、今年から児童館や地域子育て支援拠点等の施設、その他子供の安全が確保できる場所で預かることができます。
※両会員の合意によって決めることができます。

入会資格

- ▶ おねがい会員
市内に住所を有する、生後3か月以上小学生以下の子供の保護者
- ▶ まかせて会員
市内に住所を有する、心身共に健康な20歳以上の人で、センターが指定する講習会等を受講した人（9月に講習会開催予定）



利用時間・利用料金

利用時間	利用料金
月～金曜日（祝日及び年末年始を除く） 午前7時～午後7時	1時間あたり 600円
土・日曜日、祝日及び 上記以外の時間	1時間あたり 700円

※食事代・交通費など（実費）の金額は、事前の打合せ時に決定します。
※万一の事故に備えて各種補償保険に加入します。（保険料は市が負担）

「まかせて会員」足りていません！

おねがい会員数に対して、まかせて会員数が足りていません。あなたの経験を生かし、まかせて会員になってみませんか？



▶ まかせて会員講習会の様子



申込方法

申込書はファミリー・サポート・センター（中央児童館内）に備え付けています。申込受付後、アドバイザーが簡単な面接を行います。
※申込みには、印鑑が必要です。
※詳細は下記にお問い合わせください。

☎ファミリー・サポート・センター ☎②6406（中央児童館内）